

## ～消費者注意情報～

夏はエアコン修理のトラブルが増加します  
～シーズン前に試運転をして不具合がないか確かめましょう～

令和5年5月23日

## 相談事例 1

エアコンが故障し、冷風が出なくなったため、ネットで見つけた業者に電話をして修理を依頼した。業者に冷媒ガスを充てんしてもらい、点検費とガス代で合計2万円支払った。しばらく運転すれば冷えると言って業者は帰ったが、結局直っていなかった。(50代)

## 相談事例 2

エアコンが壊れてメーカーに修理を頼んだが、混んでいて来月になると言われた。仕方なくネット検索で、すぐに対応可能な修理業者を見つけたが、信頼できるか不安だ。留意点を知りたい。(60代)

## ココに注意！・・・東京都消費生活総合センターからのアドバイス

## ★ シーズン前にエアコンの試運転をしましょう。

夏本番を迎えると、販売店やメーカーにはエアコンの設置や修理の依頼が集中するため、すぐに対応してもらえないことが多くなります。シーズン前に試運転を行い、正常に作動するか確認し、不具合がないか確かめておきましょう。

## ★ 不具合がみつかったら、まずはメーカーや販売店に相談しましょう。

不具合の内容によってはメーカー以外の修理業者では対応できない場合もあります。また、使用年数によっては部品がなく修理不可能な場合もありますので、まずはメーカーや販売店に、型番や年式、故障の状況を伝えて確認しましょう。

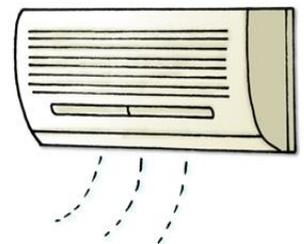
## ★ 修理業者が作業にとりかかる前に、故障の原因、見積もりについて説明を聞きましょう。

作業内容や予想される料金、直らなかった場合の対応等を事前に確認し、納得した上で修理してもらいましょう。

## ★ トラブルが生じたら、最寄りの消費生活センターに相談しましょう。

## ◆エアコン試運転のチェックポイント

- (試運転前)・ 室外機の排気口やドレン(排水)ホースはふさがれていないか。
- ・ 電源プラグは奥まで挿し込まれているか、ホコリは付いていないか。
- ・ フィルターは汚れていないか。
- ・ リモコンは電池切れしていないか。操作はできるか。
- (試運転時)・ 冷房の最低温度(16～18度)で10分間運転し、冷気は出るか。
- ・ さらに30分継続運転して、水漏れや異臭等はないか。



※メーカーにより点検方法が若干異なります。詳しくは、製品の取扱説明書やメーカーのホームページをご確認ください。  
業界団体の試運転/パンフレットはこちら→ [https://www.meti.go.jp/policy/it\\_policy/air\\_conditioner/air\\_conditioner\\_maintenance.pdf](https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/air_conditioner/air_conditioner_maintenance.pdf)

東京都消費生活総合センター  
お近くの消費生活センター

03-3235-1155  
局番なし188(消費者ホットライン)